



順天堂大学 医学部 附属 静岡病院  
JUNTENDO UNIVERSITY SHIZUOKA HOSPITAL

“ Juntendo+Izu = J's ”

皆さんと、順天堂大学医学部附属静岡病院をつなぐ、  
アットホーム情報誌 「J's (ジェイズ)」。

ジェイズ

vol.31  
2026 夏号

ご自由にお取り  
ください

特集

順天堂大学医学部附属静岡病院の  
『これまで』と『これから』



J's worker -働く人-  
臨床工学室 山田 愛佳



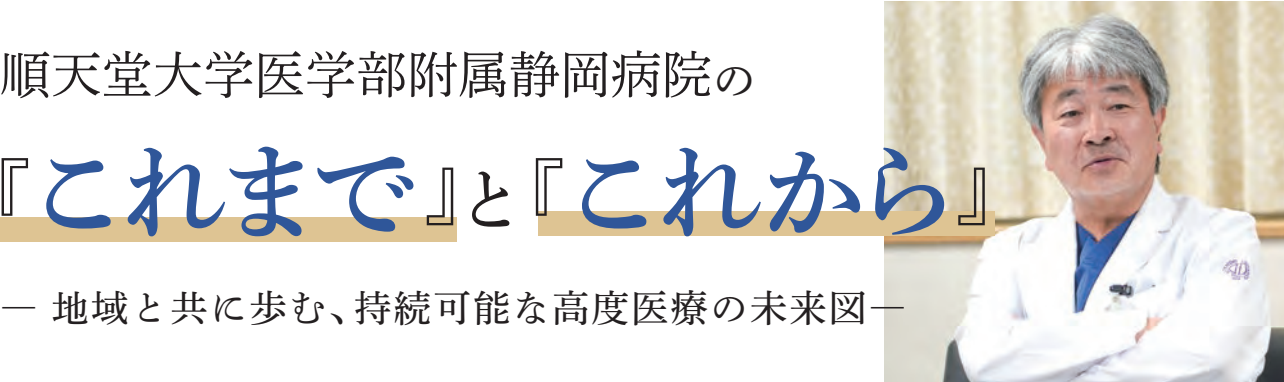
連携登録医の紹介  
村田 歯科医院  
ひだまりおとなこども歯科



2026年度 市民公開講座  
ミニレクチャー動画配信予定



私のオススメ  
旅の絵本シリーズ  
ガニメデの優しい巨人【新版】



# 順天堂大学医学部附属静岡病院の『これまで』と『これから』

— 地域と共に歩む、持続可能な高度医療の未来図 —



## 順天堂大学静岡病院の『これまで』救急と高度医療のプライド

— 伊豆の地域医療を支え続ける存在 —

「伊豆の医療を守るために、何が必要なのか？」  
大学病院としての「高度医療」の提供、地域の「救急医療」を支える使命、そして基幹病院として「地域医療」をリードする役割——。  
順天堂大学医学部附属静岡病院は、そのすべてを担いながら、伊豆の地で患者さんと向き合い続けてきました。

**最上** まずは、当院が伊豆地域で果たしてきた役割について伺います。山本院長、改めて、当院の特徴をどのように感じていますか。

**山本** 当院は、大学附属病院として幅広い高度な診療領域に対応しています。それに加えて、救命救急センターとして、24時間365日の救急体制も維持してきました。また大学病院でありながら、地域の基幹病院でもある。この三つの役割を同時に担っていることが、当院の大きな特徴だと思っています。

### <救急医療><地域医療>

**伊藤** 救急の現場では、その責任の重さを日々感じています。昨年度のドクターヘリ診療実績が全国1位となりました。伊豆半島は地理的に搬送時間が長くなりやすいため、「いかに早く現場へ行けるか」が救命率に直結します。フライトドクターやフライトナースが現場へ向かい、病院到着前から治療を開始することで、多くの命が救われています。

### 座談会メンバー



院長  
山本 拓史



院長補佐・診療部長  
伊藤 智彰



看護部長  
堀込 克代



事務部長  
小野 隆宏



広報委員長  
最上 敦彦

**最上** 救急受診者数もかなり多いですね。

**伊藤** はい。救急受診者は2025年度の月平均で1,088名、そのうち夜間・時間外が773名を占めています。2012年に救急診療科の体制を拡充して以降、伊豆半島の急患を受け止める体制はかなり整ってきました。ただ最近、高齢者救急が非常に増えています。単に救命するだけではなく、その後の生活をどう支えるかまで考えなければいけないケースが多くなっています。

**堀込** そうですね。救命後、患者さんが地域でどう生活していくかで含めて支援する必要があります。以前のような“病院完結型”ではなく、訪問看護や地域包括ケアなど、地域全体で支える“地域連携型”の視点が必要になっていると感じています。

### <高度医療>

**最上** 一方で、当院は伊豆東部地域唯一の大学病院であるがために高度医療の面では“病院完結型”を目指して発展してきました。

**伊藤** 地域がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター、肝疾患診療連携拠点病院など、専門性の高い医療を地域の中で受けられる体制を整えてきました。以前は都市部へ行かなければ受けられなかった医療を、伊豆地域で完結できるようにしてきたことは、大きな意味があると思います。

**小野** 設備面でも、新棟建設や手術支援ロボット「ダヴィンチ※1」、「TAVI※2」など、先端医療への投資が続いています。ただ単に最新設備を導入するというより、「地域で高度医療を完結させる」ために必要な整備だと考えています。

**山本** 例えば歯科口腔外科の増設もそうです。周術期管理を考えると、口腔ケアは今の高度医療には欠かせません。地域医療を支えるには、“総合力”が必要なんです。

**堀込** 看護部としても、高度医療を支える専門人材の育成に力を入れています。2019年には特定行為研修センターを設置し、現在も年間10～12名程度を育成しています。DMAT※3活動なども含め、「もっと学びたい」「地域医療を支えたい」という思いを持ったスタッフが集まっていることは、当院の大きな強みだと思っています。

※1 ダヴィンチ:手術支援ロボット  
※2 TAVI(タビ):経カテーテル大動脈弁留置術  
※3 DMAT(ディーマツト):災害派遣医療チーム



**最上** ただ、“逆紹介”という言葉に不安を感じる患者さんもあるかもしれません。

**山本** そこは丁寧に伝えていく必要があります。決して“追い返す”ということではありません。軽症の段階では地域のかかりつけ医へ、より高度な治療が必要な時は当院へ。地域全体で役割分担を行いながら、必要な医療を必要な人へ届けていく。そのための考え方です。

**伊藤** 実際、現場でも「順天堂だから安心」という声をいただくことは多いです。ただ、その安心をこれからも維持していくためには、病院だけで抱え込まない体制づくりが必要なんです。

**堀込** 患者さんにとっては、“大きな病院にかかっている安心感”がありますからね。その気持ちはよくわかります。でも一方で、待ち時間や混雑によって患者さんが疲れてしまう現実もあります。

**小野** 病院としても、「診療の質」だけではなく、「患者体験」全体を考えなければいけない時代になっています。待つ時間、移動の負担、わかりにくさ。そうした部分も含めて改善が必要だと思っています。

### “頑張る医療”から“続けられる医療”へ

**最上** 現場の負担軽減に向けたAI※<sup>1</sup>やDX※<sup>2</sup>の活用についても期待が高まっています。

**山本** DXの本質は、医療者が本来の仕事である『対面診療』に集中できる環境を整えることです。AI活用はそのための有効な手段として現在検討を進めており、事務作業を効率化することで、一人ひとりの患者さんと向き合う時間を一秒でも多く守り抜くことを目指しています。

**堀込** 看護の現場でも、デジタル化への不安を解消し、本来の仕事である「患者さんに寄り添うこと」に集中するため、今年度「看護情報戦略部門」という専門チームを新設しました。現場の看護師が使いやすい環境を整え、転記作業などの無駄を一つずつ削ぎ落としていく。それが私たちの具体的な挑戦です。

**小野** 持続可能な医療体制を築くためには、“誰かが頑張る続ける”だけでは限界があります。働き続けられる環境をどうつくるか。その視点が、これからはますます重要になると思っています。

**山本** 救急医療は「続ける」こと自体が課題なんです。当院は今も十分に役割は果たしていると思っています。ただ問題は、“持続性”です。これからさらに高齢化が進み、医療人材も限られていく中で、この体制をどう維持していくか。それが、これからの大きなテーマだと思っています。

※<sup>1</sup> AI:人工知能

※<sup>2</sup> DX(デジタルトランスフォーメーション):  
デジタル技術で、新しくより良いものに変革すること

## 順天堂大学静岡病院の『これから』 課題を直視し、未来のために変わる覚悟

### —「持続可能な医療」への挑戦—

積み上げてきた実績の一方で、外来混雑、スタッフ負担、人材確保など、地域医療を取り巻く課題は年々複雑化しています。高度医療を維持しながら、患者さんにも、医療従事者にも選ばれる病院であり続けるために――。  
順天堂大学医学部附属静岡病院はいま、「続けられる医療」への転換を進めています。

**最上** 当院に対する期待が高まる一方で、外来待ち時間や混雑への声もあります。この課題をどう受け止めていますか。

**山本** 率直に言えば、今の体制はかなり限界に近づいています。外来ブース数、医師数、患者数、そのバランス

が難しくなっています。だからこそ今後は、「高度医療」へさらに特化していく必要があります。そのためには、「予約診療の厳格化」と「地域への逆紹介」をこれまで以上に進めていかなければいけません。



## 三島サテライトが拓く 「ゲートウェイ」という未来

—必要な医療へ、より近く—

伊豆から三島へ、そして地域全体へ。  
順天堂大学医学部附属静岡病院はいま、「病院」という枠を超え、  
地域全体の医療導線を見据えた新たな挑戦を始めています。  
三島サテライト構想は、その未来の入り口になることを目指しています。



**小野** 今後の大きな鍵になるのが、三島サテライトの“ゲートウェイ機能”です。三島駅周辺は半径10キロ圏内に約40万人が暮らしており、交通アクセスにも優れた静岡県東部の玄関口といえる地域です。ここで適切な初期診療を行い、当院へ円滑につながることで、地域全体の医療利便性を高めたいと考えています。

**伊藤** これからは、“必要な患者さんを、必要な医療へどうつなぐか”という視点がさらに重要になります。三島サテライトは、当院の代替ではなく、地域と高度医療を結ぶ接点として大きな意味を持つと思っています。

**堀込** 看護も、病院の中だけでは完結しません。今年の秋からは、特定行為看護師を地域の訪問看護ステーションへ派遣する予定です。また、病院だけでなくクリニックや薬局も加わる「医療連携推進法人」の枠組みを活かし、退院後も順天堂の看護

の質をご自宅まで届ける「地域包括ケアのハブ」としての役割を果たしていきます。

**伊藤** 地域の安全を守るリーダーシップも求められています。消防や行政との連携による搬送基準の整備に加え、今後は地域の施設向けに「災害対応マニュアル」を普及させるなど、街全体の防災レベルを底上げする「教育拠点」としての活動も視野に入れています。

**最上** 「高度」な医療水準を維持しつつ、「救急」を伸ばしながら、「地域」との連携を深めていく。その一方で患者・現場の負担も減らしていく。その「バランス」こそ、これからの順天堂大学静岡病院に求められていることなのかもしれませんね。  
本日はどうもありがとうございました。

※<sup>1</sup> ゲートウェイ:地域と高度医療をつなぐ入口

## 山本院長メッセージ

私たちは、これまでの実績に安住することなく、常に「地域に何ができるか」を問い続けています。救急、高度医療、地域連携。そのすべてを、より高い水準で維持し続けるために、テクノロジーも、人材育成も、地域との連携も、さらに進化させていかなければなりません。

患者さんから、地域から、そして働くスタッフからも「選ばれる病院」であり続けること。地域の医療の未来を支えるために、これからも挑戦を続けていきます。



# J's worker 働く人

臨床工学室

山田 愛佳



## 専門性とチームワークで守る、病院の「安全」

臨床工学室には18名の臨床工学技士が在籍しており、院内におけるあらゆる医療機器の保守点検や操作を通じて、安全な医療の提供に貢献しています。業務は血液浄化や心臓カテーテル治療の支援など多岐にわたり、看護スタッフへの機器に関する相談対応や使用方法の説明も重要な役割の一つです。職場はスタッフ同士のコミュニケーションが非常に活発で、明るく相談しやすい雰囲気に満ちています。

## 手術室の最前線で業務を担う責任感

私は主に手術室での業務に従事しています。医療機器の点検・管理はもちろん、心臓手術の際には患者さんの心臓や肺の働きを一時的に代行する「人工心肺装置」の操作や補助業務を担当しています。患者さんの呼吸や循環を直接支えるという、大きな責任と緊張感を伴う仕事ですが、医師や看護師などの多職種と密に連携し、手術が安全かつ円滑に進むよう細心の注意を払っています。万が一の機器トラブルにも迅速に対応し、現場の安心を支えるのが私の役目です。

## 信頼を築く一歩先の連携と、質の高い医療への挑戦

仕事をする上で最も大切にしているのは「多職種との連携」です。手術の進行や患者さんの状態、周囲の状況を常に把握し、次に何が必要になるかを先読みして行動するように心掛けています。日頃から積極的に声掛けを行い、お互いに相談しやすい信頼関係を築くことが、最善の医療に繋がると考えています。大きな緊張感を伴う分、無事に手術を終えた時の達成感は格別です。今後も日々の経験を糧に知識と技術を磨き、より質の高い医療を提供できるよう成長し続けたいと思います。



J's  
event

2026年度 市民公開講座・ミニレクチャー動画配信予定

## ■市民公開講座

2026年  
10月or11月

2027年  
1月

2027年  
3月

確定次第HPIにて告知します

市内外のどなたでも

参加無料

申込不要

専用ページ

<https://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/pr/public/>

## ■ミニレクチャー動画配信

2026年  
9月

2026年  
12月

2027年  
2月





患者さんに良質な医療を提供できるよう、当院と連携体制を取っている地域の医療機関をご紹介します。

伊豆の国市

## 村田歯科医院



当医院は、地域に寄り添ったアットホームな歯科医院です。患者様にとってリラックスして安心できる空間造りに力を入れています。保険診療を中心に、ご希望によっては自費治療、末長く信頼していただき、メンテナンスをさせていただける治療を目指しています。

所在地：伊豆の国市南條832-2

院長：村田 雄二郎

診療科：歯科・小児歯科

アクセス：伊豆箱根鉄道「伊豆長岡」駅より徒歩で5分

電話：055-949-2404

URL：https://murata-dental-clinic.com/

Webサイト



| 診療(受付)時間    | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土  | 日・祝 |
|-------------|---|---|---|---|---|----|-----|
| 9:00~12:00  | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○  | —   |
| 14:30~18:30 | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○※ | —   |

※ 土曜午後：13:30~14:45

伊豆の国市

## ひだまりおとなこども歯科



伊豆の国市で、予防歯科を中心に大人からお子さままで幅広く診療しています。口育士・食育士の資格を活かし、お口の健康を通じてご家族の笑顔を支えることを大切にしています。

所在地：伊豆の国市吉田151-7

院長：土屋 泰樹

診療科：一般歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科

アクセス：伊豆箱根鉄道駿豆線「大仁」駅より徒歩で10分

無料駐車場10台あり

電話：0558-76-4212

URL：http://www.sankeishika.com/

Webサイト



| 診療(受付)時間    | 月 | 火 | 水 | 木  | 金 | 土  | 日・祝 |
|-------------|---|---|---|----|---|----|-----|
| 9:00~13:00  | ○ | ○ | ○ | ○※ | ○ | ○※ | —   |
| 14:30~18:30 | ○ | ○ | ○ | ○※ | ○ | ○※ | —   |

※ 木・土(隔週)：9:00~16:30(通し診療)

※ 休診日：日曜・祝日、木曜・土曜は隔週で交互に休診



書籍

### 旅の絵本シリーズ

著／安野 光雅

出版社／福音館書店



文字通り、文章は書かれていない「絵だけの本」なので、大人から子どもまで楽しめます。描かれている人々のストーリーを想像したり、自分が旅をしている気分になることもできます。童話の一場面・有名人・だまし絵なども隠されていて、何度読んでも新しい発見があり、飽きもこないのが病院の待ち時間にもぜひ。



メンタルクリニック／臨床心理士 畑山 咲野花

書籍

### ガニメデの優しい巨人【新版】

著／ジェイムズ・P・ホーガン

訳／池央耿

出版社／東京創元社



「戦争、地殻、武器……わたしの知らない言葉ばかりです」地球人と、異星人ガニメアンとの出会いを描いた物語。考え方も価値観も異なる2つの種族が、互いに分かり合おうと対話を重ねていく。彼らの諦めない姿勢に、日々背中を押されています。読み終わると、またガニメアンたちに会いたくなる、私のオススメの1冊です。



医療福祉相談室／医療ソーシャルワーカー 相馬 綾子

## 順天堂大学医学部附属静岡病院

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129番地 TEL:055-948-3111

https://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/

最新情報はこちら

Webサイト



外来診察日割表

